

旭陽電機(株) 本社社屋 照明改修



所在地：北海道旭川市1条通15丁目右1号
 構造・規模：鉄骨造、地下1階地上3階建
 照明改修施工：旭陽電機(株)
 照明改修完成：平成23年8月

S131

昭和25年に設立された旭陽電機(株)は、本社社屋の照明設備が老朽化して照度も落ちてきたことから、CO₂排出量を削減して環境問題と地域に貢献するため、照明器具をLEDに更新しました。

旭川市グリーンニューディール基金事業の認定を受けて照明設備を改修

北海道旭川市では、低炭素社会構築に向けた環境にやさしい街づくりに寄与することを目的に、民間の事業者が温室効果ガスの削減効果の高い施設・設備を整備する際の費用の一部を補助する、「旭川市グリーンニューディール基金事業」を行っています。

昭和25年に設立され、電気工事・消防設備工事、電気設備機器、通信・防災・情報機器などの販売を行う旭陽電機(株)は、この事業の主旨に賛同し、老朽化した照明設備をLEDに更新し、CO₂排出量を大幅に削減しました。

オフィス照明に直管形LEDベースライト2灯用逆富士形器具を採用し、既存比消費電力約44%を削減

2階にあるオフィスの照明は、既存ではFLR110W2灯用直付器具を中心にライン配置で設置されていましたが、長年の使用で劣化しはじめ、照度も低下していたため、省エネ性に優れた先進の直管形LEDベースライト直付下面開放器具（消費電力48W、器具光束4,800lm）に更新し、既設のライン配置の位置に連結設置しています。この直管形LEDベースライトは、使用初期の照度を制御する初期照度補正機能を搭載しており、適正照度を維持しながら余分な明るさをカットして、FLR40W2灯用器具比消費電力約44%削減、年間CO₂排出量約2,672kgの削減を可能にしています。また、直管形LEDランプの寿命は40,000時間と従来の蛍光灯に比較して3~4倍の長寿命で、メンテナンス作業もコストも大幅に軽減。LED特有の粒々感を感じにくく、美しいライン状の均一な発光で光色のばらつきもなく、机上の書類や人の顔も見やすいオフィス環境が得られています。

オフィス内で高い照度を必要とする場所には、LED一体形ベースライトスクエアタイプ直付形を追加設置し、必要照度を確保しています。オフィスのほか、応接室や打合わせ室、それに階段踊場などにはFHT42W形2灯用器具相当のLEDベースライトスクエアタイプ直付形を採用し、倉庫・駐車場などには直管形ベースライトストレートタイプ逆富士器具を用いて、消費電力の削減を図っています。



照明改修されたオフィスの出入口側から奥側を望む 既存のFLR110W2灯用器具からLEDベースライト直付下面開放器具に更新



オフィスの奥側から出入口側へ更新のLEDベースライト直付下面開放器具を望む



LEDベースライトスクエアタイプに更新の打合わせ室



階段踊場のLED照明



LEDベースライトスクエアタイプ直付形に更新された応接室



倉庫にはLEDベースライト逆富士器具を採用

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
室内	直管形LEDベースライト直付下面開放形	LEDT-42404-LDJ	43	LED 消費電力:48W
	直管形LEDベースライト逆富士形器具	LEDT-42307-LDJ	50	
	LED一体形ベースライトスクエアタイプ直付器具	LEDT-60401W-LD9	9	LED 消費電力:72W